

# 連携・協働の力・タ・チ

令和3年12月1日発行 福島県教育庁会津教育事務所



## これからの社会を生き抜く力を育む 地域と連携した防災教育

### ＝ 喜多方市立第一中学校の取組 〈その1〉 ＝



喜多方市立第一中学校（以下、喜多方一中）では、「これからの社会を生き抜く力」を育てるために、防災教育を重点事項の一つに掲げ、地域の様々な機関や団体と連携・協働しながら取り組んでいます。

今号及び次号の2回にわたり、その取組の概要と活動の様子について紹介します。

← 地域合同避難訓練において避難所設営の受付体験をする生徒

### 東日本大震災10年目という節目をきっかけに…

喜多方一中では、令和2年度に東日本大震災10年目という節目を迎えたことをきっかけに、「これからの社会を生き抜く力」を育てるために、地域と連携して防災教育に取り組むことにしました。

### 地域と学校がWIN-WINの関係になるために…

喜多方一中では、これまで地域人材の活用を図って教育活動を行ってきましたが、学校の要望を地域に伝え、支援をお願いすることが多く、地域と学校がそれぞれの課題を共有し、WIN-WINの関係になるよう取り組めたケースは希とのことでした。地域との連携が進まなかった要因として挙げられたのが、

### 「学校の多忙化」と地域住民にとっての「学校の敷居の高さ」

でした。防災教育を中心となって進めている喜多方一中の柳沼 勝（やぎぬま すぐる）教諭は、「忙しさのあまり、地域に目を向けるゆとりが持てなくなっていたのかもしれない」と述べています。

### 地域と学校の課題やニーズの共通項を関連させる

喜多方一中では、学校の多忙化を軽減するためにも、学校と地域が課題を共有し合って互いの苦しい部分を補い合う協力体制を構築する必要があるとし、その点に焦点を当て、地域の課題と学校の課題やニーズの共通項を関連させて地域との連携を図っていかうと考えました。

#### 「地域」の課題とニーズ

喜多方市では、令和元年度に田付川洪水ハザードマップを改定し、近年、全国各地で発生している想定を超えた豪雨災害に備えようとする気運が高まってきました。水害等の状況が変化中、地域では、住民を巻き込んだ防災対策をどのように進めていけばよいか模索していました。

関連

#### 「学校」の課題とニーズ

喜多方一中では、防災教育の充実を図るため、防災に関する専門的な知識と地域の状況をよく知る専門家の支援を求めていました。

そこで、地域の関係機関との連携を図り、生徒の学習を深める取組を一層推進する必要がありました。

喜多方一中では、上記の課題やニーズを踏まえ、地域と連携・協働して、どのように防災教育を進めているのでしょうか。次号で、その様子について紹介します。どうぞ楽しみに！

